

会 議 記 録

会 議 の 名 称	総務文教委員会、福祉産業委員会 (両委員会合同による請願審査)
開 催 日 時	令和7年12月4日(木) 午後1時21分から午後1時45分
開 催 場 所	宮代町役場 議会室
出席委員の氏名	委員長 丸山妙子 土渕保美 副委員長 鈴木次男 野原洋子 委 員 佐藤将行 丸藤栄一 福澤和美 小島あけみ 泉伸一郎 塚村香織 合川泰治 川野武志 議 長 田島正徳
出席職員の名 職・氏名	議会事務局長 押田 昭浩 主 幹 関根 雅治 主 任 金子 尚子
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部公開又は 非公開の理由	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否
傍聴者の人数	2名
会議資料の名称	・次第 ・請願文書表(請願書の写し)
記録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
審 議 の 内 容	下記のとおり
その他必要事項	

○12番(土渕保美君) 定刻となりましたので、始めさせていただきます。ただいまの出席委員は12名です。

定足数に達しておりますので、ただいまから総務文教委員会、福祉産業委員会による合同委員会を開きます。本日は、紹介議員の佐藤議員を、本委員会に、あらかじめ出席要求をしておりますので、後ほど、請願趣旨の説明を頂きたいと思います。

これより、11月27日、本会議において議長から本委員会に付託されました請願第4号、通常日帰り

が可能と思われる茨城県水戸市と栃木県真岡市への議員視察研修、10月1日から2日につき、わざわざ宇都宮市へ宿泊を伴う行程としたことによって、少なくとも10数万円もの無駄な税金を浪費したことにつき、このような町民常識とはかけ離れた計画を立案したことについての厳正な調査と立案議員への反省及び同種の事案再発防止の徹底を強く求める請願の件を議題とし審査を行います。

○紹介委員の説明

次に、請願趣旨について紹介議員の説明を求めます。佐藤紹介議員。

○1番（佐藤将行君） 趣旨だけですか件名から言ったほうがいいんですか。

件名からですね。はい。1番件名、ごめんなさい。紹介議員の佐藤将行でございます。本日は、皆様、お忙しい中お集まり頂きまして、御礼を申し上げます。

では、これから、請願の内容のほうを読み上げていきます。

件名、通常日帰りが可能と思われる茨城県水戸市と栃木県真岡市への議員視察研修、これは、括弧10月1日から2日、につき、わざわざ宇都宮市への宿泊を伴う行程としたことによって、少なくとも10数万円の無駄な税金を労費したことにつき、このような町民常識とはかけ離れた計画を立案したことについての厳正な調査と、立案議員への反省及び今後、同種の事案再発防止の徹底を強く求める請願という件名となっております。

請願の趣旨を申し上げます。令和7年10月1日から2日に行われた議員視察研修は議会運営委員会議会広報委員会合同行政視察研修行程表これ、タイトル本当とは違うんですけどもね。総務文教委員会とかってなってるけどこのような文章をもらったものですから、このように書かせていただきました。によると、1日目は茨城県水戸市役所、ここに2時間ですね、2日目は栃木県真岡市役所を1時間ちょっとだったかな、にと行程表には記されております。今、手元に皆さんもあると思いますけど行程表ですね。そうですね1時間半ですね真岡市はね、また、参加者は、議員、両方の委員会の議員11名、職員2名とのことであった最も両日ともに、別の担当課職員、これは地域支援課と産業観光課がおのおの2名ずつですけれども、別の担当課職員が日帰りで合計4名が別の移動手段我々とは違う、別個の移動手段を用いて、両市へ訪れたとのことであります。両市役所との距離と滞在時間等を考慮するならば、一般常識からすると、なぜ宿泊を伴うのかが理解できないことから、税金の効率的かつ有効運用の観点からも、計画立案者の見解を開示し、このことにつき厳正に調査を行い、検証の結果、反省すべき点があれば反省を求め、もって、今後の同種事案再発防止を求めることを請願するものであります。

この理由といたしましては、本件において、不要と思われる宿泊を伴い、工程が2日間となったことから、宿泊代12万8,000円、これはバスの運転手の宿泊代も含んでおります。や、宿泊場所である宇都宮市への移動距離、これ余計な移動距離ですね、及びバス運転者の拘束時間が増加しました。これにより費用も増加しました。

また、仮に日帰りとしたならば別行動であった担当課職員による宮代町役場から水戸市役所及び真岡市役所への交通費も議員と同じ53人のバスに同乗することにより、費消せずに済んだはずである。これらを合算するならば、税金の無駄は約15万前後にも最低でも及ぶのではないであろうか。そもそも、これまでの視察研修も同様ではあるが、できるだけ低廉を心がけるという発想が、少なくとも私は見受けられません。その証左として、9月議会後の総務文教委員会において委員長である丸山議員は、来年度の視察研修について話し合おうという冒頭で、来年度予算に余裕があるから泊まりにしましょうといった趣旨の発言を言ったとのことでありますが、直後に、佐藤議員より、目的を決めてもいないのにと、宿泊ありきというのはおかしいありきはおかしい、そもそも予算に余裕などないと

いった趣旨の指摘をされたことから、言い間違えました。と苦しい弁明をしたと聞き及んでいます。また、昨年は愛知県新城市という遠距離の視察研修を行ったようですが、その視察の成果が生かされたか否かという問題もあるものの、あるが、それ以前にそもそも視察地選定の妥当性も詳細は割愛するものの、町民からは疑問視されております。今回、茨城県水戸市を選んだ理由として、視察内容としては、水戸市町内会自治会の活動の活性化に関する条例についてとのことでありますが、そもそも宮代町において、水戸市と同様の条例制定の考えなど、話題にすらなっていないと聞いております。また、水戸市は約27万人という人口を抱える県庁所在地であり、人口約3万3,000人の宮代町とは余りにも規模が違い過ぎる点。さらには、水戸市の自治会町内会等の数は約1,300もあり、76地区の宮代町とは比較にすらならず、参考となる点は極めて限定的と思われる。これらを総合的に考察するならば、今回、何ゆえ水戸市を視察としてしたのかという点自体に、町民感情として大いに疑問を感じることも、請願の理由である。以上のことから本請願を行うものである。

令和7年11月19日、請願者宮代町[REDACTED]、紹介議員佐藤将行となっております。以上です。

○12番（土淵保美君） 以上で紹介議員からの説明は終わります。

○質疑

これより質疑に入ります。

質疑はありますか。ありませんか。質疑なしと認めます。

以上で質疑を終結いたします。

（「委員長。」という者あり。）

○12番（土淵保美君） はい。なんでしょう。

○1番（佐藤将行君） 追加の資料を3点お出ししたいんですけども、よろしいでしょうか。

○12番（土淵保美君） それは本件に対するものでしょうか。

○1番（佐藤将行君） そうです。はい。議会運営試案これは出さなくてもいいかもしれませんが、宿泊を伴わない場合、

○9番（鈴木次男君） 事前に出していただけないと駄目ですね。

○1番（佐藤将行君） 口頭で後で申し上げます。

○12番（土淵保美君） 却下いたします。

○討論

これより討論に入ります。

まず、本請願に対する反対討論の発言を許します。

反対討論なしと認めます。次に、賛成討論の発言を許します。丸藤委員。

○2番（丸藤栄一君） 丸藤でございます。

私は今回のこの請願について、件名の中にわざわざ宇都宮市への日宿泊を伴う行程としたこと、この点についてのみ、ここが私としては1番だと思いますので、この点について、賛成したいと思います。

○12番（土淵保美君） 次に、本請願に対する反対討論の発言を許します。

川野委員。

○13番（川野武志君） はい。

川野です。わざわざ宇都宮についてということなんですが、総務文教または福祉産業委員会のほうで、各委員のほうでですね、目的地、また研修の内容等をいろいろ委員会ごとに出ささせていただきまして、宇都宮のほうに同研修があったというところで、宇都宮のほうに宿泊を予約をとったという経緯が

あったと思います。

あと、視察先がですね、断られたというのもありましたので、そういった流れがあったので宿泊先が宇都宮市ということだと思いますので、私は反対といたします。

○12番（土淵保美君） 次に賛成討論の発言を許します。

賛成討論なしと認めます。

次に反対討論の発言を許します。はい。福澤委員。

○4番（福澤和美君） 福澤でございます。反対討論をさせていただきます。

視察先の希望場所を全議員に書面で事前に調査をされており、紹介委員も提出されているはずでございます。提出された中から、委員会ごとに相手方の自治体の御都合をお聞きし、この日程に合う自治体を何か所か聞いていただいて、結果として水戸市と真岡市に決定したと存じております。それから、視察行った個所が何ですか。

はい。水戸市など、視察の選定の妥当性ですね、はい、すいません、妥当性があったのかってところなんですけれども、一般質問などでも取り上げるなど、あと水戸市のみとちゃんカードですか、そういう取組を知れたことだとか、無駄になっていないと私は思っております。はい。以上をもって反対とさせていただきます。

○12番（土淵保美君） 次に賛成討論の発言を許します。

（「紹介議員が」という者あり。）

発言は許されません。はい。鈴木委員。

次に反対討論じゃない。いいんだな。賛成討論を終わって、反対討論の発言を許します。鈴木委員。

○9番（鈴木次男君） 鈴木です。

この理由の中になんですけども視察先、去年と今年、伺っても、何ていうんですかね。何の成果もないんじゃないかって言われてますけども、去年もそうですし、今年も私一般質問でこれをしてます。去年はですね、小学校建設に関わって木造建設を作っているところを視察しました。今、須賀小学校、これから木造建設をつくるに当たってどのようなものをつくるのがいいのか、実際にあるものはどうなのかってことを全議員で行って、それを視察して、それをまた、戻ってきてから須賀小学校の中でどんな感じで基礎設計をしたらいいのかという話合いなんかに皆さん参加しまして、十分に意義があったと思います。

今回の水戸のほうもですね、自治会が今非常に問題になっている段階ですね。

それとか、勧誘に向けてどのように動いたらいいのかということで、水戸のほうでやっているみとちゃんカードっていうのが非常に皆さん興味がありまして、それで行きましていろんな話を聞いてきました。私も今回の一般質問で、水戸のこの件について、町にぜひとも宮代町の自治会、自治体カードを導入してほしいというふうに提案しております。このように全く何て言うんですかね。この視察先が有効に活用されてないかって言われてしまいますと、ぜひとも我々の活動の内容をもう一度見ていただきまして、本当にしてないのか、してるのかをしっかりと見極めてもらいたいと思います。以上です。

○12番（土淵保美君） 次に賛成討論の発言を許します。

賛成討論なしと認めます。

次に、反対討論の発言を許します。泉委員。

○8番（泉伸一郎君） はい。請願について反対の立場で討論させていただきます。

今回の内容の中でまず趣旨の中で議会運営委員会議会広報委員会合同行政視察研修という名目が

書いてありますが、この時点で、まず、議員のほうは、ここを訂正するようにちゃんと教えてあげなければいけないと思います。今回の研修というのは、総務文教委員会と福祉産業委員会というですね、そういう研修会なわけです。

なのに、こういう文章で、たとえこういう行程表に間違いがあったとしても、これは違いますよってちゃんと訂正させてあげるっていうですね、そういう仕事をまずしていただきたかったと思います。それとあと要望の中で、この1日でいけるのではないかとと言われておりますが、私たちは旅行に行くのではなくて、視察に行くわけです。相手側の自治体の予定もあるわけですから、私たちが勝手に一方的に決めることができない。事務局のほうで一生懸命折衝をしていただいて、こういう日にちが決まったわけなので、勝手に私たちが決められるものではないということをまず認識していただきたいと思います。机上の論理で、決めつけていただくのはちょっと困難であると思いますので、私は反対討論とさせていただきます。

○12番（土渕保美君） 次に賛成討論の発言を許します。賛成討論なしと認めます。

次に反対討論の発言を許します。反対討論なしと認めます。

次に賛成討論の発言を許します。

（「もう終わりです。」という者あり。）

すいません。これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

（「委員長。」という者あり。）

質疑はなしです。

許しが出てませんので。

○採決

これより採決いたします。

請願第4号について、採択をすることに賛成の諸君の起立を求めます。

起立少数であります。

よって請願第4号については、不採択とすることに決定しました。

以上で請願第4号の審査を終了いたします。なお、12月10日の本会議において、委員長報告させていただきますが、私に御一任願いたいと思います。

お疲れさまでした。